

インプラント治療とは

ブリッジや入れ歯と同様、失った歯を補う治療の一つ。顎の骨にインプラントと呼ばれる人工の歯根を埋め込み、それを土台として人工歯を取り着けます。治療費はやや高額ですが、メリットの多い治療法です。

発症を防ぎたい「インプラントの歯周病」 自宅・歯科医院でのメンテナンスが鍵に

他の治療法との違いを教えてください。

ブリッジは両隣の歯を削る必要がありますが、そこに人工歯を固定するため負担がかかります。入れ歯もばねを掛けた歯への負担が大きく、噛む力が本来の20〜30%に低下するといわれています。一方、インプラントは自立しているため、周囲の歯を削る必要がなく、周りの歯に負担をかけることもほとんどありません。残っている歯の状態を維持しながら、天然歯に近い噛む力を得られるだけでなく他の歯の負担軽減にもつながります。

治療を受ける際にどのような検査を行いますか？

口腔内撮影、歯科用CT撮影、パノラマエックス線撮影で、顎を含めた口腔内全体の状態を把握します。例えば、上顎にインプラントを埋める場合、その場所の骨の高さ、厚み、上顎洞または鼻腔までの距離がどれだけあるかが特に重要です。また下顎の骨には血管や神経が走って

おり、それらが傷つくと周辺部の麻痺や出血を引き起こすことがあるため、細心の注意が必要です。その上で検査データをもとに粘膜や骨の移植など綿密な治療計画を立てます。

治療後に気をつけるべきことはありますか？

手入れをしっかり行わなければ「インプラント周囲炎」を発症することがあります。インプラントについて歯垢から細菌が発生することで、周辺の歯茎に炎症が起こり、腫れや出血などの症状が現れたり、骨が溶けたりする、いわば「インプラントの歯周病」です。そうならないようにしっかりとメンテナンスをすることが大切です。

インプラントを長持ちさせるために重要なことは？

インプラントを長持ちさせるには、まず適切なインプラントの処置とメンテナンスが重要です。インプラントの種類は多数あり、歯科医院ごとに取り扱うインプラントが異なります。他院へ訪れた際にメンテナンス器具が合わず、治療ができないこともあるので注意が必要です。そのため歯科医師と患者さまは、メンテナンスを含めて長い付き合い合いとなります。また、自宅でのブラッシングなど入念なお手入れも必要です。自宅ケアと並行して、3カ月に1回はクリニックでメンテナンスを受ける習慣をつけてほしいです。

「ながみね歯科クリニック」で受けられる診療

インプラント治療後も安心・安全を提供すべくケアの大切さを熱心に啓発

数え切れないほどのインプラント治療を手がけてきたという

院長。治療前の検査から、インプラント埋入術中の衛生管理、アフターケアまで、常に「安心・安全」を心がけてきた。「特にメンテナンスは、患者さまの意識が大きく影響します」と院長は話し、なぜ重要なのかを本人に理解してもらうよう努めている。インプラントの寿命は通常約10年といわれており、メンテナンスを徹底すればより長持ちできると考えているようだ。「実際、当院には20年以上の長期にわたってインプラントを維持している患者さまも多いんですよ」と院長。治療終了をスタート地点とし、歯を守るための指導に力を入れている（インプラント治療／25万円〜）。



ながみね歯科クリニック

長峯 隆史 院長

1994年愛知学院大学歯学部を卒業。2001年立花駅前に開院。得意分野はインプラント治療と噛み合わせの治療。各分野を専門とする複数の歯科医師とともに、一人ひとりに合った口腔内のトータルコーディネートをめざす。人との「縁」を大切に、地域に根差した診療を提供。予防歯科の啓発にも注力している。

LINK P186



アニメーションを使用し、治療の説明を行う院長

ながみね歯科クリニック

歯科／矯正歯科／小児歯科／歯科口腔外科

インプラント治療／予防歯科

長峯 隆史 院長

Takashi Nagamine



1994年愛知学院大学歯学部卒業。人との「縁」を大切に、歯科医療を通じて地域の健康づくりへの貢献をめざして2001年開業。インプラント治療と噛み合わせ治療を専門に、先進技術を積極的に取り入れ長期的な視点から予防歯科にも注力する。国際学会やセミナーも積極的に参加し、情報のアップデートを常に行う。

メンテナンスで長期的な口腔内管理 「ご縁」を大切に健康づくりに貢献

口腔の健康を長期的に維持していくことをめざしている『ながみね歯科クリニック』では、各分野に精通した複数の歯科医師が、一般歯科はもちろん、歯周病治療や義歯治療、小児歯科、インプラント治療、ホワイトニングなど幅広い診療に対応。落ち着いた雰囲気、待合室や個室型の診療室、先進の設備など、院内には長峯隆史院長のこだわりがあふれている。

「当院では、それぞれの歯科医師が専門分野を生かし、患者さまが抱えている問題を解決するためにバランスの取れた診療をめざしています」

口腔内の状態は一人ひとり異なるため、多様なアプローチから患者の生活の質(QOL)向上に取り組み、トータルバランスを考慮して診療を行うという。日々進歩する歯科医療の世界の先端技術を学ぶために、年に数回ほど海外に学びに出かけ、先進の治療方法などの情報を収集。スタッフ間で技術を共有し、患者に還元している。

その一つが、新型の歯科用CAD/CAMシステムだ。高解像度センサーを搭載したデンタルスキャナーを使い、型を採らずにその日のうちに精度の高い補綴物の作製を可能にしている。また、別

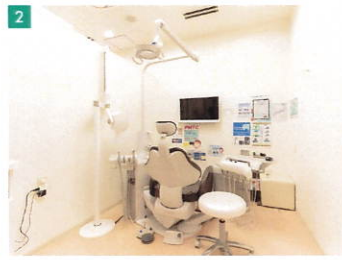
編集部
Eyes!

明るく豪快な笑顔が印象的な長峯院長。スタッフや歯科医師の皆さんの先頭に立って診療に臨む姿は、「兄貴肌」という言葉がぴったりに感じました。設備や治療器具などについても非常に詳しく丁寧に教えてくださり、歯科医師という仕事を心から楽しんでいる様子でした。患者さまやスタッフのため居心地の良い環境をつくることに力を入られているのも印象的でした。





1 患者とのコミュニケーションを意識した半円形の受付にも配慮 2 半個室の診察室でプライバシーにも配慮 3 先進機器を導入し、適切な診断につなげる



4 新型の歯科用CAD/CAMシステムを取り入れ、患者の負担を軽減

のスキナーを用いた矯正など、できるだけ短時間で楽に行えるよう、患者からのニーズが高い治療や技術を、今後も積極的に取り入れたいという。

人と人との出会いを大切に予防を通じて健康づくりと地域の歯科医療に貢献

歯の汚れは、セルフケアだけでは取り除くことができないものがあり、歯科医院でのメンテナンスが不可欠と考える長峯院長。そのため診療では予防歯科というフレーズだけでなく、施術内容やその意義についても、患者に理解を

深めてもらいたいと話す。

「定期的にクリーニングを受けてもらうのはもちろん、細菌が歯の表面に生息することでぬるぬるした状態となるバイオフィルムについてや、そうした汚れを機器を用いて除去するPMTCの必要性など、患者さまに知ってもらいたいことがたくさんあるのですよ」

メンテナンスを怠ることで歯周病の発症リスクが高まり、早産の可能性や糖尿病、心臓疾患など、健康に悪影響を及ぼすともいわれている。長峯院長は長期的な口腔内管理をめざしており、それが全身の健康維持にもつながっている

という。

「数多くある歯科医院の中から当院を選んで受診してくださる患者さまや、地域の皆さんに対し、歯科医療を通じて健康づくりに貢献していけたらうれしいですね」

患者やスタッフを含め、人との出会いを大切にしている長峯院長。後進の育成にも取り組み、技術の向上にも余念がない。「縁を大切にし、長いお付き合いができるように、日々精進していきたいと思っています」

頼れるスタッフたち



長峯院長をはじめ、各分野に精通した8人の歯科医師が在籍。互いに知識や情報を共有することで、担当医制を取りながら、より専門的な治療が必要になった場合にも対応できるのが同院の特徴の一つだ。「院内での情報交換を密に行い、スキルを高め合うことで患者さまへ還元する環境を整えています」と長峯院長。さらに患者に対しては診療方針や治療の進め方などをわかりやすく丁寧に説明し、理解と納得を得て二人三脚で取り組むことを大切にしている。また、経験豊富なベテランのスタッフが多く、患者とコミュニケーションを取りながら信頼関係を構築。誰もが居心地の良い空間づくりに努めている。

Data



Tel 06-4869-4618
 Add 尼崎市七松町1-3-1
 フェスタ立花南館123号
 Parking 有(提携駐車場が利用可能。利用の際は駐車券が必要)
 Close 日/祝

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	●	●	○	●	●	●	—	—
14:30~19:30	●	●	○	●	●	—	—	—
14:30~17:00	—	—	—	—	—	●	—	—

※○祝日のある週のみ診療

